



スマートフォン電話アプリ
画面デザイン

東北芸術工科大学
デザイン工学部 プロダクトデザイン学科 3年
期間：2014年8月18日～8月22日

■ 一般ユーザーを対象とした画面デザイン

一般ユーザーを対象とした画面デザインでは、片手で番号を入力する際に、上の方のボタンに親指が届きづらいと感じる人が多いのではないかと考え、スマートフォンの画面サイズが大型化してきている現在の傾向もふまえて「片手で操作しやすい」ことをコンセプトに画面デザインを行った。

また、片手で操作する動作からスタイリッシュな印象を感じたため、黒系統の色を中心に配色した。

■ シニアユーザーを対象とした画面デザイン

シニアユーザーを対象とした画面デザインでは、スマートフォンを使い慣れていない人が多いと考えたので、難しいイメージを与えないことと、読みやすい大きな文字や分かりやすい表記をすることを心がけた。また、いかにも「シニア向け」なものに感じないように色数を抑え、すっきりとした印象を感じられる画面デザインを目指した。



片手で操作しやすいレイアウト

電卓をモチーフとしてボタンを配置しダイヤルボタンや発信ボタンなど電話をかける際に必要なボタンを画面全体の約半分の高さに納めることで、片手で持ったときに親指が届きやすい配置になっています。

立体感のあるボタン

従来のもものと比べるとダイヤルボタンが小さめなので、ボタンの判別がしやすく押しやすいように立体感のあるボタンにしました。

番号は区切って読みやすく

入力した番号はどこまで入力したかわかりやすく、発信する直前にも確認しやすいように区切られて表示されるようになっています。



通話画面も片手で操作

通話画面も片手で操作できるように画面下側に操作ボタンを集め、押しやすいよう大きめのボタンとしました。

通話相手を分かりやすく

通話している相手の情報と操作ボタンを上下で分けているので、画面の上側には余計な表示がなく、通話相手が分かりやすくなっています。

スライドで通話終了

操作ボタンが画面下側に集まっているため、通話終了は間違っって押すことがないようにスライドで終了させる方法にしました。通話時間の表記に向かってスライドさせる動作によって、それまで続いた電話を終わらせることをイメージしました。



簡単に使えそう

難しそうな印象を与えないよう色は親しみやすい白色を基調とし、いかにもシニア向けのデザインに見えないように色数を抑え、すっきりとした印象を目指しました。

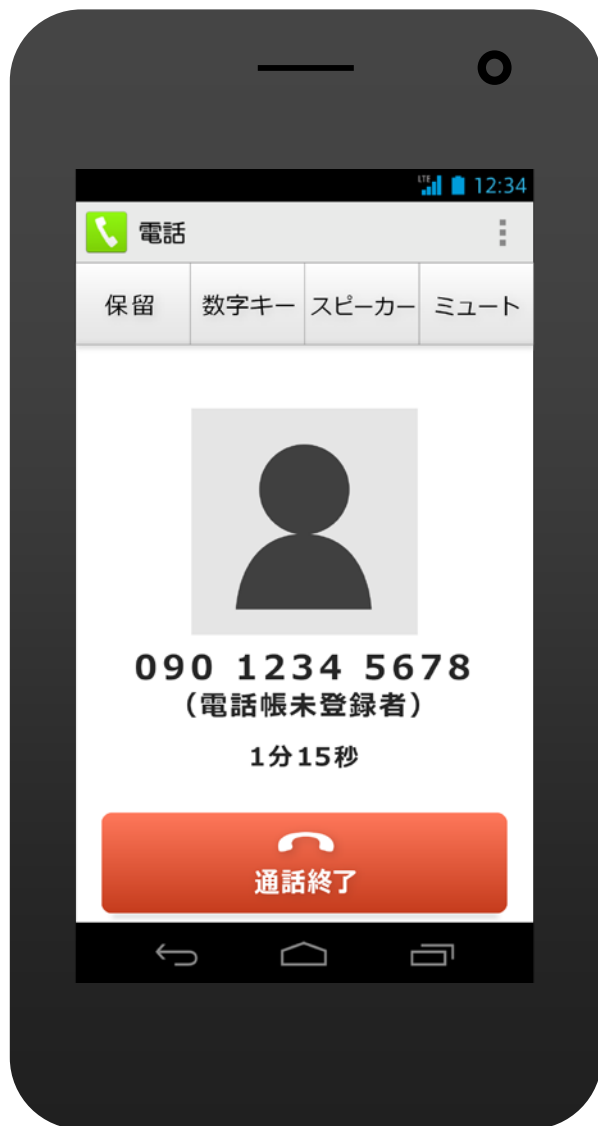
また、押す場所がどこだか分かりやすいようにボタンには立体感を持たせ、ボタンの角を丸くすることでより親しみやすい印象にしています。

文字は大きく読みやすく

文字は読みやすいように大きくし、太字を多く使っています。入力した番号の表示は一般向けのものと同じように区切って読みやすくしているほかに、文字間を広くとることで1文字1文字を確認しやすいようにしています。

分かりやすい表記

画面下の黒いボタンの表記は「削除」や「登録」といった単語ではなく「1文字削除」「電話帳登録」というように何を削除するボタンなのか、何を登録するボタンなのかまで分かるように表記しています。



分かりやすくシンプルに

操作に迷わないように「通話終了」のボタンと、「それ以外のボタン」とで画面の上下に分けて配置しています。また、通話相手や電話番号は見やすいように画面の中心に大きく表示しています。